

令和3年度一般会計補正予算に対する反対討論 みわ陽子議員

議案第69号令和3年度一般会計補正予算(第6号)に日本共産党江南市議団を代表して反対の意見を述べます。

この補正予算では、中学3年生と高校3年生のインフルエンザ予防接種の助成金120万円の計上など不十分ながらも評価できる予算もありますが、公園等整備事業の久昌寺公園の測量委託料など58万8千円、調理業務委託事業4万5千円、新学校給食センター整備事業179万3千円など今後の市の財政支出に関わる予算計上で問題となる点があり意見を述べます。

まず久昌寺公園の土地鑑定や測量委託は久昌寺の跡地を買い上げ公園整備するという前提の予算になっていることです。

地元から公園整備の要望がでているとはいえ、現在ある南と北の公園はあまり管理もされず、利用者もそれほどないようで、今多額の費用をかけて緊急に大きい公園を整備する必要があるとは思えません。本当にここに広い公園整備をする必要があるならば、まずどんな公園を作るのかを提示するのが先ではないでしょうか。

南部の緑を増やすためとの答弁もありましたが、南部には神社やお寺、畑など自然の緑が多くあります。布袋地区には布袋駅近くに仮称1号公園の整備も近いうちに行われます。

公園面積や緑の必要性をいうなら、中央の古知野地区こそ公園を増やす必要があるのではないのでしょうか。これらのことから今この時期に土地をを買う前提の予算には賛成することができません。

次に調理業務委託事業では、人件費しか削るところがない民間事業者間での業者選定で経験豊かなチームワークの取れる調理員の配置ができるのかの不安があり、本当に安心・安全の給食が継続的に提供できるのか心配するところです。

また実質3年間の債務負担行為2億994万円は1年間で7000万円程度になります。

現状に比べると940万円ほどの縮減効果との答弁でしたが、今と同じ人数で利潤を出した上での縮減効果とすると大幅な人件費削減になることが考えられます。劣悪な環境の中、安い賃金では長続きせず、調理員の交代も考えられます。やはり民間委託の調理業務は安定した継続性の面から賛成できません。

また新学校給食センター整備事業のPFI導入可能調査委託料については従来方式とPFI方式の負担コスト削減VFM中心の調査委託になることがわかりました。設計、施工、運営まで一体として契約となるPFI方式については一旦契約した後の状況に応じた変更が難しいこと、大手企業によるSPCが主導するので、多額の税金を使いながら、地元企業の参入が難しいこと、リスクに対する対応で問題が起きやすいこと、市民に施設や運営についての情報開示が少ないこと、民間資金で利息が高くなり、結局市の財政負担が増える可能性があること、さまざまな手続きが煩雑になることなど、利益追求が目的ではない公共施設の建設では課題が多い手法であると考えられます。VFMに限定した導入調査はPFI導入前提とした調査になると考えられます。

よってこのPFI導入調査委託料の支出も賛成することはできません。

これらのことにより、議案69号令和3年度一般会計補正予算6号に反対いたします。